

30年前の悲劇を忘れない

ルワンダと長崎が繋がる学びと祈りの夕べ

Kwibuka30 In 長崎

-く い ぶ か-

Kwibuka
FORGOTTEN - LEARN - FORGIVE
30
in Nagasaki

日時: 2024年6月17日(月)18時~20時 ※17時30分開場

会場: 長崎原爆資料館ホール

長崎市平野町7-8

入場無料
事前申込不要

1994年4月7日、ルワンダ共和国では内戦が激化し同じ国民同士の戦い※で100日間に100万人以上の方が亡くなりました。この大惨事を後世に語り伝え、二度と同じ過ちを繰り返さないようすることが残された私たちの使命です。

学びと祈りを続ける長崎でKwibuka30 in Nagasakiを開催できることを大変うれしく思います。

皆様にルワンダ虐殺の歴史をお伝えし、共に学び祈り、長崎の地から世界に平和の尊さを発信していきましょう。ぜひ、ご来場ください！

※ 30年前に起きたツチ族に対する大虐殺(ジェノサイド)

永遠瑠 マリー・ルイズ

TOWARI MARIE LOUISE



永遠瑠マリールイズ

NPO法人 ルワンダの教育を考える会理事長。1993年 JICA 青年海外協力隊カウンターパートナーとして福島市で洋裁の研修を受ける。1994年 ルワンダに帰国直後に内戦が激化し、子ども3人を連れて隣国のコンゴ民主共和国へ逃れる。様々な奇跡を経て再来日。2000年に「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、それ以来、命の尊さ、教育の大切さを訴える活動を行っている。日本国籍取得の際「永遠にルワンダを忘れない」との想いを込めて、永遠瑠マリールイズと名付けた。

講演プログラム -詳細は裏面-

ルワンダ内戦から30年。戦場から今まで私を支え続ける希望の光

NPO法人 ルワンダの教育を考える会 理事長 永遠瑠マリールイズ

ルワンダが描く平和社会の実現に向けて

駐日ルワンダ共和国大使 ムカシネ・マリー・クレール

Kwibuka30 in Nagasaki 追悼祈念式典

歌と灯のフィナーレ



総合司会

フリーアナウンサー

peace by peace NAGASAKI代表

前田真里さん

主催: NPO法人 ルワンダの教育を考える会

共催: 駐日ルワンダ共和国大使館

後援: 長崎市、長崎市教育委員会、長崎県教育委員会、長崎大学

長崎平和推進協会、長崎県国際交流協会、JICA九州

お問合せ

Kwibuka30 in Nagasaki実行委員会

(長崎市万才町3-15 Axis内)

TEL 095-823-8315 FAX 095-823-8333

E-mail: axis8315@outlook.jp